

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 央福祉会	代表者	上田 幸生	法人・事業所の特徴	法人理念である「やさしい気配り 親思う 慈しみの心」を基本に、利用者一人一人が自分のペースで過ごせるよう、利用者の声を大切にし、主体的に過ごせるよう対応している。利用者の変化にも、すぐ気づき対応できるようスタッフ間の連携を図り情報交換・共有に努めている。 また、当ホームは、法人の理事長が元々住んでいた場所でもあり、名前も屋号からである。そういった部分を活かしながら、地域の行事にも積極的に参加している。また、ホーム内にて地域つどい事業を開催し、地域住民との交流を図り、地域に根付いていけるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム かめやん家	管理者	中川 佑治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	上記の意見にあったが、9つのテーマは決まってお り重複する点がありますが、1番は日々のケアや支 援での気づき、本人や家族、地域との会話から情 報収集をし、スタッフ間で共有することに力を入 れていきたい。そうする事で、利用者や家族の 変化に早急に対応し、地域資源やホームのサー ビスを柔軟に組み入れ、長く安心して在宅生活 が送れるようにこれからも取り組んでいきたい。 外部研修や地域行事へも、管理者や一部の スタッフだけでなく様々なスタッフが参加でき るように機会を作っていく。	ケアマネジャーのモニタリングの内容は全 スタッフで回覧したり、ミーティング等でも話 し合えることができています。日々の様子や 利用者の声も極力、記録に残しケースにて共 有している。利用者や家族の変化に早急に対 応し、生活スタイルに合わせた支援を心掛 け柔軟な対応を心掛けている。外部研修や 地域行事へはコロナウイルスの影響もあり参 加できていない。	○スタッフ全員が良く話し合い意見交換が できている。 ○利用者に対する家族や本人 からの情報収集が一番大切だと思う。満足さ れるまでは難しいと思うが、それに近づく 努力は必要だと感じる。事業所として今以 上に努力をお願いします。 ○忙しい中、 課題に取り組もうと努力してくださって いると思います。 ○利用者の方の生活に 対して真摯に取り組んでおられると思 います。	引き続き、日々のケアや支援での気づき、 本人や家族・地域との会話から情報収集し、 スタッフ間で共有することに力を入れてい きたい。そうすることで、利用者や家族の 変化に早急に対応し、地域資源やホームの サービスを柔軟に組み入れ、長く安心して 在宅生活が送れるようにこれからも取り組 んでいきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	時折独特な臭いがするとのことですが、 スタッフ間では常に清潔を意識していたた め、特に気になっていなかったのが現状です。 不快な臭いにつながるように、再度、清 潔を意識し、利用者にとって居心地の良 い環境作りに努めていきたい。また、送 迎後に玄関前に車が止まりっぱなしにな っており、送迎後には車を車庫におし、ま た、自転車の止め方にも気をつけ、すべ ての方が入りやすいようにしていきます。	スタッフ間で指摘しあい清潔には意識 しており、利用者にとって居心地の良 い環境作りに努めてきた。玄関も施錠 していない、また車や自転車の止め 方もスタッフ間で注意し、入りやす い環境や雰囲気作りをしている。	○昨年はあまり訪問できませんでしたが、 私が見る限り事業所のしつらえ・環境は 努力されていると思う。機会は少ない が明るい感じはしました。 ○整理整頓・ 清潔は良好です。 ○ホームをほとん ど訪問することはあまりないですが、 入りにくさはないです。事業所内外の 音やにおいもわかりません。鍵はかか っていないと思います。ただ母にと っては居心地の良い空間で安心でき る場所だと思います。 ○現在はコ ロナウイルスの為、地域の方の出入 りはほとんどないと思います。 ○雰 囲気も良く、いつ来ても清潔が保た れています。	引き続き、事業所内外の清潔を意識し、 利用者や来客者にとって居心地の良 い環境になるよう努めていきたい。また 送迎車や自転車等の止め方や保管につ いても気を付け、すべての方が入り やすい環境やしつらえに気を付けてい く。

<p>C. 事業所と地域の かかわり</p>	<p>引き続き、少しでもかめやん家が地域の方の居場所や地域資源としての役割を担えるように相談しやすい場所になるように、つどい事業を継続し、地域行事にも積極的に参加していきたい。意見にもありましたが、子供とのふれあいの行事やイベントについては、町会に子供が少なく、子供会がないことから、難しい面がありますが、引き続き保育園との交流会や、小学校、中学校とも連携し地域の子ども達との交流を増やすべく行事にも参加していきます。昨年はニーズがなかったが、中学校からのニーズがあれば職業体験も受け入れをしていきたい。</p>	<p>つどい事業はコロナウィルスの影響で中止となり、また地域の行事やイベント・保育園との交流会・職場体験も中止の為、参加や実施できていない。地域の方とはあいさつや日常的な会話を通して交流はできている部分はあ</p>	<p>○全般によくできていると考えます。 ○事業所としてはできる限り地域の行事にも協力的に実施していただいています。昨年はコロナウィルスにより、行事が余儀なく中止となり参加できませんでした。○今年度はコロナウィルスの為、地域の行事やイベントは開催されないことが多く、参加もできていないと思います。○いつも送迎の時にはにこやかに挨拶をしていただきます。困りごと等とも相談しやすいです。 ○地域とのかかわりがしにくかった1年であると思います。ただ施設の中でできることはしていたと思います。</p>	<p>今年度はコロナウィルス感染症の影響で集い事業や様々な地域行事への参加もできなかった。来年度は、状況にもよるが、落ち着けば、少しでもかめやん家が地域の方の居場所や地域資源としての役割を担えるように相談しやすい場所になるように、つどい事業を継続し、地域行事にも積極的に参加していきたい。町会に子供が少なく、子供会がないことから難しい面はありますが、引き続き、保育園の交流会や小学校とも連携し地域の子ども達との交流を増やすべく行事にも参加していきます。</p>
<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>各利用者がその地域に住んでいるという事を意識し、各地域と連携を少しでも多く取れるようにしていきたい。今回は異南においても利用者を通じて行事に参加する事で、スタッフもあいさつをしたり顔見知りになったりできるようになってきている。ホームがある異中、今回の異南だけでなく、各利用者を通じて、各地域とも必要に応じて連携を図っていききたい。利用者以外の心配な方にも地域包括支援センターと協力をし、ホームが地域資源としての役割を担えるよう、地域に根付いていけるよう、回覧板や営業活動、つどい等の行事を通じて情報発信していきたい。</p>	<p>異中・異南の地域の方とは利用者を通じて交流や顔なじみの関係ができてきている。他の地域の方とは交流や関係性はまだまだ不十分である。地域包括支援センターとは、利用者の紹介等もあり、報告や相談等で連携は図ることができてきた。回覧板や営業活動・つどいとも多かったのでコロナウィルスの影響もあり、情報発信は不十分であった。</p>	<p>○昨年はコロナウィルスにより、地域のイベントや行事がことごとく中止になり参加できませんでした。通常は積極的に実施や参加されています。 ○コロナウィルスの為、改善計画通りの取り組みは難しかったと思います。そんな中でも百歳体操があればなんとか参加できないか努力いただきました。今年度は異例だったので評価は難しいです。 ○地域の行事が中止になっているものも多く、難しいことも多かったのではと思います。○地域の社会資源として活躍してもらえと思っています。これからも協力していければと思います。</p>	<p>各利用者がその地域に住んでいるということ意識し、各地域と連携を少しでも多くとれるようにしていきたい。現在は、異中・異南の利用者が多く利用しており、利用者を通じて行事に参加することでスタッフも挨拶をしたり顔見知りになったりできています。少しずつでも知っていたり範囲を広げよう、各利用者を通じて、他の地域とも必要に応じて連携を図っていききたい。利用者以外の心配な方にも地域包括支援センターと協力し、ホームが地域資源として活躍してもらえよう、根付いていけるよう、回覧板や集い等の行事を通じて情報発信していきたい。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>運営推進会議は地域の方の声や情報等を聴ける貴重な場である為、シフトの調整をし、可能な限り、ホーム長以外も参加する機会を作っていく。地域へのチラシは回覧板や新聞広告等を活用し、引き続き取り組んでいく。</p>	<p>コロナウィルスの影響もあり、運営推進会議を中止することがあり、書面での報告になっていることもあった。そのため、ホーム長以外の職員が参加することはなかった。ただ、議事録にて内容は確認できるようにしている。</p>	<p>○月々の運営報告がわかりやすく説明され、地域包括支援センターとも連携し、情報交換ができています。○コロナウィルスの為、何事も自粛の一年でした。そんな中で取り組めること、出来ないことがあったと思いますが、工夫しながら頑張っていたと思います。○会議の内容がわかりやすく、取り組みについても興味深く聞かせていただいています。地域の今の問題点も上げられるので、施設と地域のつながりを感じます。</p>	<p>今年度はコロナウィルスの為、書面での報告が多かったので、状況にもよるが可能な限り開催していきたい。運営推進会議は地域の方や情報等を聴ける貴重な場であるため、シフトの調整をし、ホーム長以外も参加する機会を作っていく。参加できない場合も議事録等で情報提供していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>まだまだホーム内の防災対応にも課題は多くあるため、防災訓練や勉強会、スタッフ同士で話し合う時間を増やし、マニュアルやフローチャート、防災対応の見直しをしていきたい。避難訓練や防災訓練に地域の方や運営推進会議のメンバーにも参加や協力してもらい、現状の状況を知ってもらう。またともに考える場を作り、地域の課題にも目を向け、連携を図れるようにしていきたい。また、災害が起こったら本人や家族とどう連携や連絡を取っていくのかも、個々に合わせて考える場を作っていきたい。</p>	<p>防災マニュアル以外にも災害時フローチャートを作成し、スタッフ間で初動の対応についても確認している。今年度は、コロナウィルスの影響もあり、地域の方や運営推進会議のメンバーと合同での消防訓練は実施できなかった。家族との連携は、災害時のホームの対応についてや、避難場所を互いに確認すること、連絡方法についても周知し共有している。</p>	<p>○災害はいつ起こるか分かりません。日頃の訓練が一番大切なのでよろしくお願います。今後はコロナ対策も必要ですので、一緒に地域の防災訓練も参加をお願いします。○訓練ではなく、実際の動きについては難が多いと思う。スタッフの臨機応変の対応や行動についても必要という点が重要です。○忙しく、コロナ禍の中でも地域の防災訓練に参加したり、ホームの避難訓練にも地域の方々に協力していただき、しっかり取り組んでいると思います。○AEDなどもあり、地域の人からは知られている施設であるので、担う役割は大きいと思います。</p>	<p>まだまだホームの防災対応にも課題は多くある。防災訓練や勉強会、スタッフ同士で話し合う時間を増やし、随時マニュアルやフローチャートの見直しをしていきたい。また事業継続計画(BCP)の作成ができていないため作成し、作成後は検証・見直しをしていく。避難訓練や防災訓練に地域の方や運営推進会議のメンバーにも参加や協力してもらい、現状の状況を知ってもらう。またともに考える場を作り、地域の課題にも目を向け、連携を図れるようにしていきたい。</p>